

タイトル	自動運転EVバスの実証実験（国土交通省補助事業の採択・事業概要(案)の決定）				
実施場所	富士みち循環ルート 市役所前～中央通り～月江寺駅入口交差点～上宿交差点～新屋交差点～市役所前				
内 容	<p>国土交通省管掌の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金(自動運転社会実装推進事業)」について、本市での「自動運転EVバスの実証実験」が、令和7年6月2日(月)付けで採択、6月20日(金)に補助金交付が決定しました。</p> <p><実証実験実施の背景> 本市では、第6次富士吉田市総合計画において、御師文化の上吉田地区と昭和レトロな町並みの下吉田地区を一体的に捉えた「都市シンボル軸」として定め、唯一残る麓からの登山道の保存・活用として、「富士みち」を中心にしたまちづくりを掲げています。 こうした中、「富士みち」などを行き来する新たな公共交通の提供による、交通インフラの維持向上と持続可能なまちとしての活力向上、富士山のオーバーツーリズム対策と脱炭素化を目的として、令和5年度より「自動運転EVバスの実証実験」を実施しています。 今年度は、昨年度購入した車両を用いて、レベル4自動運転バス社会実装に向けた、「許認可取得手続きの開始」「運行オペレーション・技術・社会受容性の定着」「持続可能性の確保」などに取り組み、事業用車両ナンバーを取得し、有償での運賃収受オペレーション検証などを行う予定です。</p> <p><実証実験計画概要（予定）> ◆運行車両：<small>ティアフォーミニバス</small>TIER IV Minibus〔自動運転レベル2〕 ◆運行速度：35 km/h 未満 ◆乗車定員：16名〔オペレーター1名を含む〕 ◆運行期間 準備運行期間：令和7年12月中旬～下旬（約半月程度） 一般運行期間：令和8年1月上旬～2月下旬（約2カ月間）</p> <p><実施体制> ◆富士吉田市レベル4モビリティ・地域コミッティ 富士吉田市〔事業全体の企画、進捗管理、成果測定、参加団体相互の調整など〕 富士急行株式会社〔実証計画策定支援、各種検証・効果測定支援、車両に関する諸設備の提供など〕 富士急バス株式会社〔車両運行に関わるオペレーションなど〕 <small>ボールドリ</small>BOLDLY株式会社〔車両の供給・技術支援など〕 富士河口湖町・鳴沢村〔富士スバルラインルート実証実験に関する連携〕 関東運輸局〔レベル4認可などに関する連携〕 関東地方整備局〔路車協調システム設置などに関する連携〕 関東経済産業局〔自動運転などMaaS社会実装等に関する連携〕 関東総合通信局〔路車間などの通信インフラに関する連携〕 山梨県警察本部〔特定自動運行に関する連携〕 ◆協力団体 国立大学法人山梨大学工学部/生命環境学部地域社会システム学科、 富士吉田商工会議所、(一社)富士五湖観光連盟、(一財)ふじよしだ観光振興サービス (株)ふじよしだまちづくり公社</p>				
問合せ先	企画課	担当者名	青山・常盤	連絡先	22-1111（内線228）
備 考	運行計画（バス停・ダイヤなど）や乗車予約方法などの詳細は、確定後に再度連絡します。				

